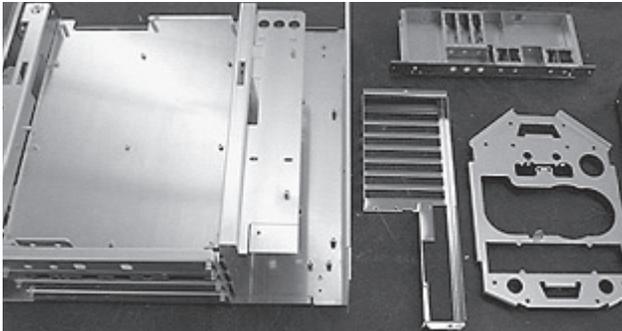


(財)茨城県中小企業振興公社の設備資金貸付制度を活用して設備を導入し、生産効率が向上した(資)薄井電機製作所玉造工場をご紹介します。

### 正確な精密板金加工で事業を推進！



同社製品（通信機器用のシャーシ等）

同社は、昭和12年東京大田区に創業し、72年に亘り精密板金加工を行う経験と実績を有する企業である。主な製品には、通信機器や計測機用のシャーシ、オーディオ機器の部品などがある。オーディオ機器部品については、同社HPを通じて販売も行っており、高音質を求めるユーザーに好評だ。

「当社のモットーは、高品質なものを速く、安く提供すること。」と薄井社長は話す。同社はこれまで設備を整え、製品検査の徹底を図ることにより、取引先からの高い要求にも応えてきた。同社の技術力を支える社員に対しては、大手工作機械メーカー主催の技術研修に積極的に参加させ、技術力の向上を図ってきた。また、社長は積極的に生産現場に立ち、社員とのコミュニケーションをとるなどモチベーションを高める工夫を行ってきた。この結果、離職



同社作業現場

#### (資)薄井電機製作所 玉造工場

##### 【会社概要】

- 代表社員 薄井 保則
- 住所 行方市若海929-17
- 設立 昭和25年10月
- 電話 0299-55-0958
- F A X 0299-55-0956
- e-mail yasunori.u@usuidenki.co.jp
- U R L <http://www.usuidenki.co.jp/>



設備資金貸付事業で導入した「マニピュレータ」

する従業員は皆無であるという。

しかし、このような経営努力を行ってきた同社であるが、昨今の不景気の中、受注を獲得するため、さらなる生産効率の向上が不可欠であると考え、当公社の設備資金貸付事業を活用して、タレットパンチプレス、マニピュレータ、Vファクトリ等の設備を増強した。

この結果、打ち抜き加工、成形加工を行うタレットパンチプレスへの材料自動供給(マニピュレータ)が可能となり、夜間、無人化での生産等を行えるようになった。これにより、コスト削減等を行うことができ、生産効率を高めることができた。

また、パソコン上においてマシンの運用状況・稼働実績を把握する(Vファクトリ)ことにより生産管理も飛躍的に容易になった。薄井社長は、「厳しい経済状況は今後も続くが、社員と協力しながら生産効率を高めこの難局を乗り越りたい。」と話す。